

日本国際貿易促進協会京都総局

The Association For The Promotion of International Trade, Japan, Kyoto Office

日本 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町 637

TEL : (075) 354-0777・0770

第五長谷ビル3階 〒600-8411

FAX : (075) 354-0778

No.5 Hase Building, Suigin-yacho, Karasuma Shijo,
Shimogyo-ku, KYOTO 600-8411 JAPAN

E-mail : kyotosou@japitkyoto.jp

HP : <http://www.japitkyoto.jp>

2019年3月

各位：

2019.5 深圳・貴州視察団 ご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は多大なご支持ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年来、日中関係が大きく改善するに伴い、日中双方のビジネス界の交流は活発な動きを見せています。

中国経済は新たな発展段階に入り、なかでも中国のデジタル技術の発展はますます存在感を増し、AI（人工知能）、IT（情報技術）を駆使したデジタル革命により新しいビジネスモデルが生まれ、デジタル経済のスピード感は今や世界をリードすると言っても過言ではありません。

そこで、中国が打ち出す粵港澳大湾区（広東・香港・マカオ大ベイエリア）建設にも含まれる深圳と、中央政府が推進する中国のビッグデータ本拠地の貴州を実地に確かめ、今活発に動いている中国の様々な経済成功を取り入れ日中間の新しいビジネスチャンスを探る必要があると考えます。

今後ITはますます全産業、全業種の発展とかかわり、ビジネスもこれまでなかった結びつきで新産業、新原動力がどんどん生まれている現在、これまで関係なかった方面にも注目する必要があると考え、今年5月に深圳・貴州視察団を派遣いたします。

中国の最新の動きと情報収集の現地調査として積極的にご参加下さいますようご案内申し上げます。 敬具

2019.5 深圳・貴州視察団 派遣要領

企画主催 日本国際貿易促進協会京都総局

後援 京都商工会議所、公益社団法人 京都工業会

現地活動 ○貴州省貴陽では、第5回中国国際ビッグデータ産業博覧会および貴安新区を視察し、中国のビッグデータ本拠地の発展の様相について理解を深めます。

○イノベーションの街 深圳では、日系企業、IT関係企業を訪問し、今中国で最も創新と発展を続けている深圳のビジネス環境を見聞し、情報収集します。

日本国際貿易促進協会京都総局

The Association For The Promotion of International Trade, Japan, Kyoto Office

訪問都市 深圳市、貴州省貴陽市

訪中日程 2019年5月26日(日)～29(水)、3泊4日

訪中費用 団費 197,000円

- ・含まれるもの～国際航空運賃・中国国内航空運賃(Yクラス)、ホテル代3泊(4～5☆クラス、一人一部屋、含む食費・飲料別途)、現地での移動車代、訪問先への土産代、事務連絡費、資料代、雑費、その他)
- ・含まれないもの～パスポート取得費、個人的費用(飲食費・電話代など)、別行動費用、海外渡航保険、関西空港までの往復交通費、その他)

お申込み 申込書にご記入の上、Eメール添付でお送り下さい(Word形式でお願いします)。

尚、電子ファイルは当方へご請求下さい。E-mail: kyotosou@japitkyoto.jp

申込締切 2019年4月26日(金)

お問合せ 日本国際貿易促進協会京都総局

TEL 075-354-0777 FAX 075-354-0778

日本国際貿易促進協会京都総局

2019年5月 深圳・貴州視察団 日程(案)

2019年5月26日(日)～29日(水)、3泊4日

日次	月日(曜)	移動	現地時間	交通機関	活動内容(宿泊)	朝食	昼食	夕食
1	5/26(日)	関西空港発 深圳空港着	15:30 19:05	CZ8426	約4時間半の直行便で深圳へ 専用車でホテルへ (深圳・香格里拉大酒店)	×	×	機内食
2	5/27(月)	深圳 深圳空港発 貴陽空港着	 21:40 23:30	専用車 CZ3673	終日: 深圳市内で訪問と視察 IT関係企業、日系企業、電子街ほか 夕食後、深圳空港から貴陽へ 専用車でホテルへ (貴陽・空港麗港酒店)	○	○	○
3	5/28(火)	貴州省 貴陽市 貴安新区		専用車	午前: 中国国際ビッグデータ産業 博覧会会場 視察 午後: 貴安新区 視察 (貴陽・ハワードジョンソン)	○	○	○
4	5/29(水)	貴陽空港発 関西空港着	14:30 19:40	CZ8395	午前: 予備(博覧会、貴陽市内) 約4時間の直行便で関空へ 入国、解散	○	機内食	×

利用ホテル(一人一部屋)

深圳・・・深圳香格里拉大酒店(羅湖シャングリラ)(5☆)

貴陽・・・貴陽空港麗港酒店(4☆)、

貴陽ハワードジョンソン(5☆)

利用航空会社

中国南方航空(CZ)

日本国際貿易促進協会京都総局

The Association For The Promotion of International Trade, Japan, Kyoto Office

日本国際貿易促進協会京都総局（Eメール：kyotosou@japitkyoto.jp）行き

2019.5 深圳・貴州視察団

参加申込書

氏名	ふりがな ()	性別	(○印) 男 女
	ローマ字綴り (パスポート署名と同じもの) ()	生年 月日	19 年 月 日
勤務先 名称	所属・役職：		
勤務先 住所	〒 Tel : Fax : Eメール： 携帯電話：日本＝ 中国＝		
ご自宅 住所	〒 Tel : 携帯電話：		
旅行中 のご連絡先	氏名： Tel : 携帯電話：		
パスポート	No. :	発行年月日：	年 月 日
		有効期限：	年 月 日
現地参加 の方	合流 フライト (月 日 便で 時 分 深圳着) 離団 フライト (月 日 便で 時 分 深圳発) その他連絡事項：		
ホテルの 部屋	禁煙 喫煙		

パスポートの鮮明なコピーをEメール添付でお送りください。

日本国際貿易促進協会京都総局

The Association For The Promotion of International Trade, Japan, Kyoto Office

ビッグデータと貴州省

貴州省は中国の南西部に位置する標高1,000m を越す高原地帯に位置し、山々と水が織り成すカルスト台地には中国国内最多である17 の少数民族が暮しています。この自然豊富な貴州省に、2014 年1 月、「西部地域の重要な成長拠点」「内陸開放型経済の新領域」「生態文明モデル区」という三大戦略を掲げ環境に配慮した産業を推進する技術革新モデル地区「貴安新区」が誕生しました。

省都・貴陽市の花溪区・清鎮市と安順市内の平壩県・西秀区に属する2 市4 県20 鎮の合計1,795 km²（日本の香川県とほぼ同じ広さ）を再編成した貴安新区は中国で8 番目の国家水準経済新区であり、中国で唯一ビッグデータ資源の管理・共有・解放などを系統的に扱う総合試験区に指定されています。

北京や深圳のハイテク産業と一線を画すのは、通信・交通・農業・医療などの多分野に渡る企業と行政が協力し合い、実際にビッグデータを活用することで如何に住民の生活向上や地域の活性化に繋げることが出来るかという試みを貴安新区を中心に省全体で取り組んでいるという点です。

高原地帯特有の涼しい気候と豊富な水源による電力コストの低さ、地震が少ない安定的な地質条件、勤勉で器用な地元人材の人柄、整ったネットワーク・インフラと国や省の全面的なバックアップを背景に、新区誕生以来マイクロソフト、クアルコム、フォックスコン、ファーウェイ、アリババ、テンセント、百度などの企業が相次いで貴州省に拠点を置き始め、国内外より注目を集めています。

貴州省「貴安新区」では、北京・深圳の先にある中国が目指すビッグデータ産業の新しいかたちをご覧いただくことができます。

貴州省では、国家水準経済新区である「貴安新区」とともに、貴州省のビッグデータ産業を支える大きな柱となっている省都・貴陽市の「国家高技術産業開発区」（以下、「高新区」）も併せて視察可能です。

第5回 中国国際ビッグデータ産業博覧会

2019年の開催期間：5月26日（日）～29日（水）

展示面積60,000 m²の貴陽国際生態会議センター（東京有明ビックサイト東展示場・千葉幕張メッセ1～8号館とほぼ同等）に、貴安新区に拠点を置く企業はもちろん、国内外よりビッグデータ・IoT（モノ＋インターネット）・AI（人工知能）関連企業が参加し最先端技術の披露、最新の研究成果の展示や関連会議・フォーラムが行われます。昨年の来場者は実に12万人。中国が推し進める次世代IT技術を理解し肌で感じるうえで重要な場となっています。

ビッグデータ展示センター

貴州省が国と連携し推し進めているビッグデータ産業の概要や農村などの貧困対策について見学できる施設です。政府主導で行われている「貴州クラウド」のデータの取扱いや安全性、政府が提供するデータの動きや省都・貴州以外のエリアとの連携、企業実例などを最新式の展示でご覧いただけます。

貴陽科恩ビッグデータ先進技術研究院

NTT データと中国科学院ソフトウェア研究所が共同で設立した研究院で、ビッグデータをもとに貴陽市内の渋滞を予測し緩和する信号コントロールシステムや河川の環境汚染を監視するシステ

日本国際貿易促進協会京都総局

The Association For The Promotion of International Trade, Japan, Kyoto Office

ム等を開発、実際に稼働させています。日本人の駐在スタッフの方より現地事情や日本企業の進出についてお話を伺うこともできます。

貴州デジタル経済展示センター

貴州省内のビッグデータと教育・医療・物流など各生活分野を連携させ、どのような新しいサービスが生まれているか、また、それらを元にどのように省内の貧困支援・農村振興を行っていくか。遠隔医療や物流・交通の最適化、農業の情報化といった各企業の実例をご覧ください。

チャイナモバイルビッグデータ展示場

中国最大手の通信会社チャイナモバイルの貴州省で行っている試験的な取り組みを展示する施設。省内の携帯シェア約7割強という利点を活かし、ビッグデータを利用した交通予測情報サービスや、政府と連携し出稼ぎで離れて暮す家族の教育支援を行うといった新サービスをリアルタイム情報を見ながら体感できます。

FOXCONN エコトンネルデータセンター

天然の山にトンネルを掘りその中にサーバーを設置するという貴州省の安定した気候と地形を活かした低コスト高安全のデータセンターの一つで、6,000台のサーバー、3億GBにおよぶデータを管理しています。こちらでは実際にトンネル内部に入り、資源利用と利点・機能性の高さなどを肌で体験していただけます。

貴州大学西南実訓センター

貴州大学と北京の慧科教育科技グループが連携し設立した教育機関。教育機関・企業・貴安新区が連携し貴州大学の理工系データ関連学部等の4年次の教育を担い、自由な発想を持つ人材の育成や就職・起業支援も行っています。各分野が連携して行う地域振興・人材育成の場を実際にご覧いただけます。

前回 2018 年に開催された中国国際ビッグデータ産業博覧会

中国国家発展改革委員会、中国工業・情報化部、国家インターネット情報弁公室、貴州省人民政府が共催し、貴陽で開催された。博覧会では多くのビッグデータ研究成果が発表され、AI（人工知能）、無人運転などの先端技術の展示がなされ、協力プロジェクトの成約額は350億元（1元＝約17円）を超えた。

ビッグデータ展覧会に加え、China E-Commerce Innovation and Development Summit（中国電子商取引イノベーション・開発サミット）も期間中に開催され、ビッグデータ部門の最新の技術と製品を見せる専門的な展示会や、ビッグデータとその他の部門との革新的な統合や、人工知能に関する世界的なコンテストがおこなわれた。ビッグデータ産業の新しい概念、慣習、製品、ビジネスに関するその他の活動も行われた。

30人以上の有力な学者、世界のトップ企業500社のリーダー、並びに400の出展者、報道機関を含む約4万人のゲストが4日間のイベントに参加した。

同展覧会は、スーパーデータ計算能力、世界最大のシングルディッシュの電波望遠鏡である中国の500メートル球面電波望遠鏡（FAST）の技術的応用、第5世代通信技術およびその他の世界の最先端技術の応用を展示し、約40の国内外のビッグデータ企業が参加し、イスラエル、ロシア、マレーシア、オーストラリア、イタリア、フランス、韓国の政府、企業から出展者が登場。

期間中、世界中のIT企業が最新技術を披露し、ビッグデータの産業への活用などについて議論。

日本国際貿易促進協会京都総局

The Association For The Promotion of International Trade, Japan, Kyoto Office

開幕式には、中国政府要人が出席し、習近平国家主席の「われわれはビッグデータ戦略に力を入れ、これまでの高速な経済成長を高品質な成長に転換するために役立てる」とのメッセージが披露された。ハイレベル対話会では、人工知能（AI）やデータセキュリティ、ブロックチェーンなどをテーマに、企業のトップや有識者らが最新の技術動向を説明した。会場では約 400 社が AI やクラウド、第 5 世代移動通信システム（5G）などの技術について紹介。日本からは NTT データグループがブースを設け、貴陽市と協力して実証実験中のスマート交通ソリューションなどを展示した。

貴州省は 2015 年に中国で初めて「全国国家ビッグデータ総合実験区」に指定され、2014 年 1 月に新設された貴安新区と、省都の貴陽市にある国家ビッグデータ産業集積区を中心に、関連産業の育成に励んでいる。すでにアリババグループと連携して、省政府によるデータ共有プラットフォーム「雲上貴州」を全国で初めて構築。全域共通の無料 Wi-Fi スポットの構築も完了するなど、環境整備が進んでおり、現在はデータセンター（DC）事業者やインターネットサービス企業などの誘致に積極的だ。

貴州省には、ビッグデータ産業が発展するための先天的な優位性が備わっている。貴州省の平均海拔は 1080m、年間平均気温は 14.2 度と比較的涼しい地域。また資源が豊富で石炭・水力・火力・太陽光パネルによる発電が盛んで電気価格も安い。同条件の設備下では南方の他の DC よりも電力コストが 1~3 割抑えられるという。また地質も安定しており、マグニチュード 4 以上の地震はほぼなく、自然災害が少ない地域としても知られている。DC を建設するには最適な立地というわけだ。

実際、DC 建設は急ピッチで進められており、日系 IT ベンダーの進出はまだないものの、中国 3 大キャリアの中国電信、中国移动、中国聯通や、ファーウェイ、アリババ、HP、マイクロソフト、テンセント、浪潮集団など、大手 IT 企業が相次ぎ DC を構築。フォックスコンでは、エネルギー効率を示す PUE が最高値 1.03 となるグリーン DC を建設した。

貴州貴安新区管理委員会によると、貴安新区内にある DC の延べ収容サーバー数は 300 万台に達するという。実際に現地を歩いた IT ベンダー担当者は、「DC だけでなく、高層ビルも大規模に建設されており、都市化が急速に進んでいる」と話す。

中国貴州省の貴安新区は、ビッグデータ産業の振興による発展を強調し、同新区で実施されるビッグデータ関連の総事業規模は、過去 1 年で倍増し、250 億元に達したと発表。貴安新区は、2014 年に新設された中国 8 番目の国家級新区で、貴州省が中国初の「ビッグデータ総合試験区」に指定され、2020 年までの「第 13 次 5 か年計画」でもビッグデータ産業の先進地域に位置づけられており、関連産業を軸に成長を図っている。

「奇跡的な成長」と自称する貴安新区では大規模な建設ラッシュが進んでおり、当初さら地状態から出発し、中国政府の手厚い支援を背景に、すでに鴻海科技集団（フォックスコン）、クアルコム、ファーウェイなどが巨額投資を行っている。データセンターの誘致も積極的で、中国三大通信キャリアの中国移动通信、中国電信、中国聯通は大規模 DC を建設中。

新区ではこうしたビッグデータ関連産業を背景とした発展を「奇跡的な成長」と強調し、域外から投資を呼び込もうとしている。一方、DC 拠点や生産拠点としての活用メリットはあるものの、市場としての魅力が乏しいことから、日系 IT ベンダーは同新区の進出に慎重な姿勢をとっている。